

新型コロナウイルス等感染症予防および拡散防止対策について

日本国内における新型コロナウイルス感染症の発生に関しまして、JRC2022 では、政府、自治体、関係諸機関等から示される正確な情報の収集に努めるとともに、感染拡大の防止に細心の注意を払い、実施してまいります。会場へお越しいただく皆様におかれましても、手洗いやマスクのご準備、うがいなど、感染防止策へのご理解とご協力をいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

感染拡大予防の趣旨をご理解いただき、以下の通りご協力をお願いいたします。

- ・開催日時点で、発熱症状など体調がすぐれない方、日本へ入国・帰国されて待機期間中の方、新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者であることが判明した方はご来場をお控えください。
- ・厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」、神奈川県「LINE コロナお知らせシステム」のご登録をお願いいたします。
- ・会議センター1階・2階のフォワイエ、国立大ホール1階・3階のフォワイエ、展示ホール入口、アネックスホール入口にサーモグラフィーを設置いたしますので検温にご協力ください。37.5度以上の方は別途非接触型の検温器で再度計測を行った上で、入場をお断りする場合がございます。
- ・感染防止のため、マスクのご準備・ご着用を必ずお願いいたします。
- ・手洗い、うがいの励行をお願いいたします。
- ・会場入場口に消毒用アルコールの設置をいたします。ご入場の際は手指の消毒をお願いいたします。
- ・昼食付セミナー時はなるべくお早めにお食事をすすめの上、お食事後は速やかにマスクのご着用をお願いいたします。また、お食事中的の会話はお控えください。
- ・会場にて万が一体調が悪くなった場合、速やかにお近くのスタッフにお声がけください。
- ・万一感染者が発生した場合の拡大防止のため、政府・自治体からの情報提供を求められた場合は、個人情報の取扱いに十分注意しつつ、必要に応じて参加者の個人情報を提供いたしますので、あらかじめご了承の上ご参加ください。

また、JRC2022 では、感染防止対策として、参加者の皆様が安心してご来場いただけますよう、以下の取り組みを実施いたします。

【受付】

- ・参加受付前にサーモグラフィーでの検温を実施いたします。37.5度以上の方は、別途非接触型の検温器で再度計測いたします。
- ・参加費はオンライン参加登録による事前決済とし、原則現金の授受取扱いは行いません。
- ・窓口に飛沫感染防止用のシートを設置いたします。

【講演会場】

- ・各講演会場内の座席間隔を前後左右あけて、最大収容人数の50%程度に設定した

レイアウトで配置いたします。

- ・講演会場内の立ち見は禁止とします。収容人数を超えた場合は、入場をお断りさせていただきます場合がございます。
- ・入退場口を区分し、なるべく参加者が混在しないようご案内いたします。
- ・座長・演者や、ステージと聴講者の間には2m以上の間隔を確保することとし、距離の確保が難しい場合は飛沫感染防止用のシートを設置いたします。
- ・フロアの質問用マイクには飛沫感染防止用のシートを設置いたします。
- ・講演時に利用したマイク等は、定期的に除菌シートで消毒いたします。
- ・会場内は換気システムにより定期的に内気と外気を入れ替えています。また定期的に扉を開放し、換気を行うようにいたします。
- ・ランチョンセミナー時の共催企業のチラシやアンケート等の配布は禁止とし、ご案内がある場合はスクリーン上で放映いたします。

【スタッフ】

- ・出勤前に必ず体温チェックを行います。
- ・出勤後は手洗い、うがい、アルコール消毒を行います。
- ・会場内ではマスクの着用を徹底いたします。また、状況に応じて、フェイスシールドや使い捨て手袋を着用いたします。

【その他】

- ・館内各所に消毒用アルコールを設置いたします。
- ・密閉空間を防止するため、館内の喫煙所は閉鎖いたします。
- ・休憩コーナーは会議センター6階に設置し、アクリル板を設置いたします。
- ・指定救護室を設置いたします。

JRC2022 といたしましても感染予防対策を実施してまいりますので、ご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

JRC2022 実行委員会

第81回日本医学放射線学会総会 会長 村上 卓道
第78回日本放射線技術学会総会学術大会 大会長 白石 順二
第123回日本医学物理学会学術大会 大会長 西尾 禎治
一般社団法人日本画像医療システム工業会 会長 山本 章雄